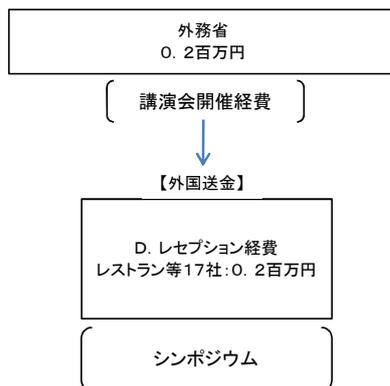
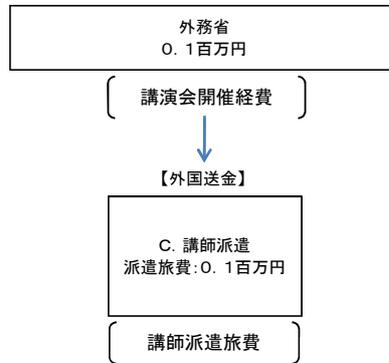
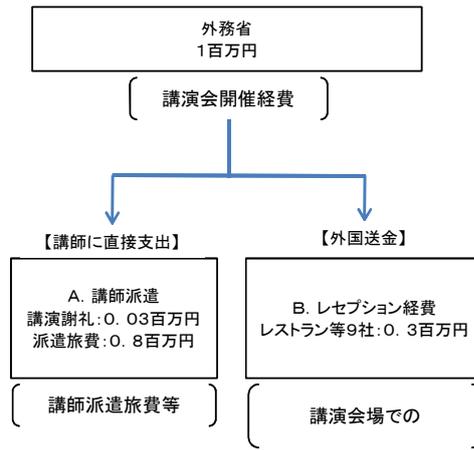


平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	科学技術外交推進専門家交流	担当部局庁	軍縮不拡散・科学部	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始(平成23年度より、「科学技術外交及び宇宙外交推進専門家交流関係経費」に事業名を変更して実施)	担当課室	国際科学協力室	室長	菅宮 真樹		
会計区分	一般会計	施策名	II-3 原子力の平和的利用及び科学技術分野での国際協力				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項二	関係する計画、通知等	新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)、「第4期科学技術基本計画」(平成23年8月19日閣議決定)等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術外交・宇宙外交の一環として、本事業を通じて、我が国の優れた科学技術に関する国際的なブランド・イメージの確立・強化及び、将来の二国間科学技術協力に向けた環境醸成を目指す。また、新成長戦略をも念頭に置いて、産業界・科学技術コミュニティ・外交当局の連携を強化しつつ、日本企業等が有する優れた科学技術の国際的なビジネス展開を支援することにより、我が国の科学技術力の更なる向上及び経済成長につなげる。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国が強みを有するグリーン・イノベーション、ライフ・イノベーション及び宇宙(「新成長戦略」)等の分野において、①我が国官民の優れた科学者・技術者を戦略的に海外に巡回派遣し、講演会及びレセプション等を通じて諸外国の産官学関係者との対話を促進し、ネットワークを強化するとともに、②企業の研究開発者等にネットワーキング及び科学・技術の広報の場を提供することにより日本企業が有する優れた科学技術の国際的なビジネス展開を支援し、我が国の科学技術力の更なる向上及び経済成長につなげる。 平成22年度は、212公館に募集を行い、内部審査を経てウィーン及びストラスブールへの派遣を決定。平成23年2月にウィーンでの国連宇宙空間平和利用委員会科学技術小委員会開催の機会を利用して、我が国の優れた科学者を派遣して「日本の有人宇宙技術」に関する講演会及びレセプションを実施。別途、分子生物学研究所、国際宇宙大学で講演を実施。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	—	2	2	11	6
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	—	2	2	11	6
		執行額	—	1	1	—	—
	執行率(%)	—	57.6%	71.8%	—	—	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」に関わる先進技術者をウィーンとストラスブールに派遣し、それぞれセミナーを開催。日本の先端科学技術や有人宇宙活動の実績を効果的に印象づけることができた。セミナー後のレセプションでは、関係者間の情報収集や意見交換、人脈形成の機会を提供した。	成果実績	人	—	153	260	400
		達成度	%	—	96%	108%	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」に関わる先進技術者をウィーンとストラスブールに派遣し、ウィーンで2回、ストラスブールで1回の講演を実施した。セミナー後にレセプションを開催した。	活動実績(当初見込み)	回	—	2 (2)	3 (3)	— (10)
単位当たりコスト		448,933(円/回)		算出根拠	合計:1,346,797円(総額)／3回(開催回数)		
平成23年度(単位:千円)予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由		
	謝礼		1,021	365	事業見直し等による減		
	文化人等派遣旅費		4,528	3,349			
	会議費		4,917	2,304			
	通信運搬費		508	0			
	計		10,974	6,018			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と用途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 講師派遣

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	講演会講師派遣旅費	0.8		
2	個人A	講演会講師謝礼金	0.03		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. レセプション経費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	CAPITAL CATERING	レセプション開催に係るケータリング	0.1		
2	EGASTRO GmbH	レセプション食材	0.1		
3	MyWine	レセプションドリンク	0.03		
4	HASAN OZER KEG	レセプション食材	0.01		
5	V.I.C.	レセプションドリンク及び食器等借り上げ	0.01		
6	Unterschrift	レセプション食材	0.01		
7	ZUM GOCKELHAHN	レセプション食材	0.0		
8	BILLA	レセプション食材	0.0		
9	OBSTECK ELKA	レセプション食材	0.0		
10					

C. 講師派遣

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人B	講演会講師派遣旅費	0.1		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D. レセプション経費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	VINTAGE CELLARS	レセプションドリンク	0.1		
2	ANEGAWA EMTERPRISES	レセプション食材	0.1		
3	CORPORATE EXPRESS	レセプション食材	0.01		
4	個人A	レセプション開催に係るボーイ雇用	0.01		
5	個人B	レセプション開催に係るボーイ雇用	0.01		
6	個人C	レセプション開催に係るボーイ雇用	0.01		
7	SIMPLY FRESH FRUIT MARKET	レセプション食材	0.01		
8	T&E ASIAN GROCERY	レセプション食材	0.0		
9	IGA	レセプション食材	0.0		
10	KIM's GROCERIES	レセプション食材	0.0		